

報道資料

平成30年7月23日

防災統括室（大内） 内線2285

消防救急課（倉田） 内線2273

健康推進課（松本） 内線2935

熱中症への注意呼びかけについて

今年2件目の熱中症疑いによる死亡事例の報告がありました。

今後も気温のかなり高い状態が続き、熱中症の危険が高くなります。

熱中症は予防が大切ですので、水分や適切な塩分補給を行うなど日頃からご注意ください！

1. 熱中症の救急搬送後の死亡事案について

搬送日：7月22日（日）

年代：50代 性別：女性 住所地：北葛城郡王寺町

発生場所：屋内

発生時の状況：自宅居間で呼吸をしていない状態で倒れていたところを家族が発見し、119番通報された。（7月22日20時59分）

【消防本部救急隊からの情報】

※上記死亡事案については、搬送時に医師が熱中症と判断したものを注意喚起のために紹介するもので、確定診断ではありません。

（参考）7月22日の奈良市の最高気温 36.4度（アメダスによる観測）

※現場周辺のアメダスによる気温観測地点は、奈良、針、大宇陀、五條

7月22日の奈良の暑さ指数 30.7℃・嚴重警戒基準（環境省熱中症予防情報サイトから）

2. 熱中症の予防対策

○外出は涼しい服装、日傘を利用するなどし、定期的に涼しいところで休憩しましょう。

○家の中でじっとしていても室温や湿度が高いために、熱中症になる場合があります。

・室温28℃を超えないように、部屋の温度をこまめにチェック！

（普段過ごす部屋には温度計を置くことをお奨めします）

・エアコンや扇風機を上手に使いましょう。

○日頃から水分補給はこまめにし、栄養バランスの良い食事と体力づくりをしましょう。

○奈良県ホームページ「注目情報」に熱中症に関する注意の呼びかけを掲載中

特に高齢者の方はご注意ください！！

汗をかきにくい、暑さを感じにくい、また、体温を下げるための機能が弱くなっており、**自覚がないのに熱中症になっているという危険性があります。**

（参考）熱中症の救急搬送状況

○過去の搬送状況との比較

比較時期	※前週までの累計（うち死亡事案数）
30年度7月第1週（4/30～7/15）	349件（0件）
29年度7月第1週（5/1～7/16）	327件（0件）

（参考：H30.7.17 死亡事案 1件）

※今週の集計結果は、7月24日公表予定です。